

平成29年度 学校自己評価計画書

石川県立七尾特別支援学校珠洲分校

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備 考
1 教員の専門性向上と個別の指導計画を具現化した授業の改善・充実の推進	① 学部を超えて授業を参観し、参観者によるコメントをもとに小・中・高が連携した授業改善に取り組む。	教務課	他学部の授業を参観する機会が少なく、良い授業を行ってもその専門性や技術が浸透していかない。	【努力指標】 所属学部や他学部の授業を年6回以上参観する。 (各部2回以上)	授業を参観した回数が A：7回以上 B：6回 C：4～5回 D：3回以下	C以下であれば参観方法などを再検討する。	9月と1月に教員へのアンケート調査を実施する。
	② 教員の専門性向上のための校内の事例検討会や研修会を企画する。	キャリア支援課 自立支援	本校には、知的に併せて肢体や視覚あるいは発達障害などその障害も多様な児童生徒が在籍している。一人ひとりのニーズに応じた指導、支援ができる専門性の向上をめざす。	【成果指標】 全体での生徒児童の事例検討会あるいは障害理解についての研修会などを年9回以上開催する。	実施した校内研修の回数が A：12回以上 B：9回～11回 C：6回～8回 D：6回以下	C以下であれば原因を分析し、取り組み方見直しをする。	年度末に評価する。
2 キャリア教育の推進と進路指導の充実	① 社会との繋がりを意識できるように、外部講師や地域資源を活用した授業を計画し実践する。	キャリア支援課 進路指導	外部講師の授業や外部資源を、キャリア教育の視点から、学校全体で児童生徒と社会を繋ぐという明確な目的を持ち、計画的に実践されていない。	各学部での生活単元学習や総合的な学習の時間、作業学習において、外部・地域資源を利用した授業を、各学部で協議し、年間13回以上行う。	各学部で協議した授業が A：15回以上 B：13回～14回 C：8回～12回 D：7回以下	C、Dの場合は行事や部の業務の見直しを行い、協議と実施体制を作る。	9月、1月に評価する。
3 地域関係機関とのネットワークの構築によるセンタ－的機能の向上	① 地域との関係機関や外部専門家と連携し、特別支援教育に対する校内外のニーズに応じた支援を行う。	キャリア支援課 自立支援	珠洲市立病院、県リハのOT、PT、STなどと連携しながら、「助言→改善」がサイクルするよう取り組んでいる。今年度は外部の参加者を含め、指導を受けたことを活かして実践を重ねることが重要である。	【成果指数】 指導・助言を受けた教員がその後に改善のための実践を行った人の割合で評価する。(外部にはアンケート郵送)	改善のための実践を行った教員の割合が A：90%以上 B：80%以上90%未満 C：70%以上80%未満 D：70%未満	C以下であれば取り組み内容及び方法を再検討する。	事後アンケートを年度末に評価する。
4 安心・安全な学校づくりの推進	① 職員の「安心・安全」に関する意識を高めるため、防災に関する情報を「防災だより」を通して発信する。	生活支援課	職員を対象に搜索訓練やAED講習会、各種避難訓練を実施しているが、防災を裏付ける知識や情報の継続的な提供がさらに必要である。	【満足度指標】 生活支援課が提供する、安心・安全に関する情報は役立つものである。	提供された安心・安全に関する情報が役立ったと判断する職員の割合が A：90%以上 B：80%～90%未満 C：70%～80%未満 D：70%未満	C以下であれば取り組み内容及び方法を再検討する。	7月、10月、1月の年3回、教員へのアンケート調査を実施する。
	② Webページで学習活動の様子や学校からのお知らせを積極的に発信する。日々の行事だけでなく、進路に関するページなど、保護者や地域の方に有益と思われる内容を吟味し、公開する。	総務課	学校のホームページの更新状況などが、まだ全ての保護者に伝わっておらず、保護者のホームページへの関心が低い。	【努力指標】 Webページの年間アクセス数を20,000件を目標にする。 (昨年度は年間アクセス数17,310件)	Webページのアクセス数が A：25,000件以上 B：20,000件～25,000件未満 C：15,000件～20,000件未満 D：15,000件未満	C以下であれば、取り組み内容及び方法を再検討する。	年度末に評価する。